

ひきこもりとその支援のあり方

ひきこもり経験者と支援者の実践から

現在、70万人を超える人々が様々な理由でひきこもり状態にあると言われています。今回、「ひきこもり経験者の立場」から、どのように考え、立ち上がり、今を生きているのかについて語っていただき、「支援者の立場」からひきこもり支援のあり方について実践報告を受けた後に、皆様と共に考え、思いをはせる機会をもちたいと思います。経験者の方、家族の方、支援者の方、そして興味をお持ちのすべての方のご参加をお待ちしています。

日時	場所	参加費	スケジュール
2017年12月16日 (土) 開演 13:00 (受付12:30~) 終了 16:00	京都新聞文化ホール (地下鉄丸太町駅下車すぐ)	▶無料!ガンガンいこうぜ	13:10-14:00 下田つきゆび氏講演 14:00-14:50 坂本将吏氏講演 15:00-16:00 ディスカッション 下田つきゆび氏 坂本将吏氏 指定討論者: 鶴見隆彦氏 司会: 児嶋亮氏

下田 つきゆび
ゆうしゃ (ひきこもり経験者) しよぞく: つきゆび倶楽部 とくぎ: ひきこもり経験者としての立場から当事者・家族・支援者へメッセージを放つ

坂本 将吏
せんし (作業療法士) しよぞく: 沖縄青少年自立援助センターちゅらゆい とくぎ: 沖縄での作業療法士としての若者支援についてお伝えする

鶴見 隆彦
けんじゃ (作業療法士) しよぞく: 湘南医療大学保健医療学部教授 とくぎ: 厚生労働省でのひきこもり支援経験の立場から切り込む

児嶋 亮
せんし (作業療法士) しよぞく: 醍醐病院 とくぎ: 京都府作業療法士会ひきこもり支援WG代表として司会進行する

申し込み方法・問い合わせ先

当日参加も可能ですが、できる限り事前にホームページもしくはFAXでお申し込みください。

▶ホームページ: <http://hikikomoriquest.wixsite.com/kyoto>

▶FAXでお申し込みの方は裏面に記入いただき、事務局宛てにFAXして下さい。

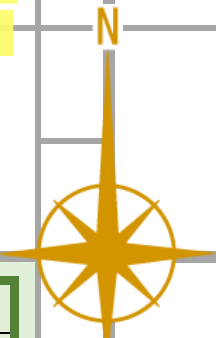
▶ひきこもり支援ワーキンググループ事務局

第二北山病院作業療法室 松井/鈴木 TEL: 075-791-2137 FAX: 075-782-2631



ひきこもりとその支援のあり方

FAX参加申込書



今出川駅

右記の
参加者氏名と立場を
ご記入いただき、
12月9日までに
下記の事務局へ送付
してください。

参加者氏名・立場	フリガナ
	<input type="checkbox"/> 当事者 <input type="checkbox"/> ご家族 <input type="checkbox"/> 支援者 <input type="checkbox"/> その他 ()
	フリガナ
	<input type="checkbox"/> 当事者 <input type="checkbox"/> ご家族 <input type="checkbox"/> 支援者 <input type="checkbox"/> その他 ()
	フリガナ
	<input type="checkbox"/> 当事者 <input type="checkbox"/> ご家族 <input type="checkbox"/> 支援者 <input type="checkbox"/> その他 ()
	フリガナ
	<input type="checkbox"/> 当事者 <input type="checkbox"/> ご家族 <input type="checkbox"/> 支援者 <input type="checkbox"/> その他 ()

丸太町通り

丸太町駅

京都新聞文化ホール
地下鉄烏丸線「丸太町駅」7番出口すぐ
駐車場はありません

夷川通り

烏丸通り

御池通り

烏丸御池駅

京都市役所前駅

FAX 075-702-2631
ひきこもり支援ワーキンググループ事務局（第二北山病院OT室）